

やぶなべ

青森県立青森高等学校生物部 発行

誌名	やぶなべ
号/発行年/頁	26 / 1982 / 36-44
タイトル	報告 月見野、稲山
著者名	和田龍一

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

月見野、稲山

和田 隆一

私たちの植物の調査は野内川ばかりではなく近いところでは月見野や稲山の調査があります。一月に一回とか、週に一回とか定期的なものではありませんが、月見野においては、思いがけず週一回ほどの割合で一月半ほど調査できました。稲山は今年二回ほどしか行っていませんが、マムシグサも見つかりこれから調査に期待したいところです。

Ⅰ. 月見野

4月23日

この日が今年初めての月見野の調査。山腹から登るコースをとる。山腹の中ほどでスミレサイシンを見つける。キジムシロの花はまだ少し早いようだが、花をつけた株も見られる。山頂で、カタクリ、キクサキイチゲの大群落を見つける。また、キクサキイチゲはまだ咲いておらず、花は白のもの。

5月8日

キジムシロの花がいっせいに開き、あまりが黄色の花だらけ。山腹から登る。タチツボスミレ、ニオイスミレがいよいよ花をつけ始める。全体と株が小さい。山頂のカタクリは花がおちて、めしべが姿を現している。マイヅルソウがそろそろ咲くのではないかと思っ
て探すと、山頂につぼみのマイヅルソウが見られる。山をおりて林道へ出て、奥へ進む。道のわきの高くなるところにキバナノイカリソウの群落。さらにタチツボスミレを見ながら奥へ進むと、セトリシズカが見られる。道をもどってキャンプ地の方でタチツボスミレやスミレが見られた。

5月15日

キジムシロがまだ最盛期。山道ではニオイタチツボスミレがますます多く見られる。モモやハリ株の小さいものが多い。山頂のカタクリの群落であったところは、他の草がのびはじめ、群落の風景はない。まもマイヅルソウが見られた。林道の奥では、キバナノイカリソウの花がほとんど落ちており、セトリシズカの群落も半数以上になった様子。そのかわりオオタチツボスミレ、タチツボスミレが花を見せてくれる。キャンプ場近くのベンチのそばの木にはミツバアケビがからみついて、花を咲かせていた。

5月23日

尾根側の登り口のアズマギクの群落が見られる。尾根側は山腹側より木が多い。この中にマイヅルソウの大群落を見つける。約2m x 50cm四方の中にマイヅルソウが敷きつめられたように咲く。山頂付近ではタニウツギのピンク色の花がきれいに咲いている。カタクリの群落は中心のあたりは、背の高い草がはえてしまい、周縁部にはチゴユリの群落となっている。まも突然オオヤマオダマキが見られたり、ギンランが見られたりしました。山をおりて林道を奥へ進む。キバナノイカリソウはまだ熟しきっていない実をつける。セトリシズカは全く見られない。さらに進むとヒツボスミレの白い小花の株を見つける。

6月8日

尾根側の登り口で、ホタルカズラの群落を見る。青色とピンク系の花がある様子。スミレはたいてい大型になっており、しかも花がくちはじめで、見るかげがありません。林の中をわすかたエぐると、アマドコロが見られる。高さ40cmほどでゆるく湾曲し、下側は花をぶら下げる。山頂のカタクリはいよいよまもって所在がわからなくなる。まもギンランを見ることはできませんでしたが、ニオイタチツボスミレや、タチツボスミレのEぐいは、花は終りのようです。

先前を確認して通りすぎてしまうような調査でも、山全体として

の変遷を見ると、当り前ではありますが、明らかに季節があり、山は生きているという感じをうけます。しかしカタクリの群落が、わがわが一月ほどの間に姿を消してしまふのは、全く大きな驚きでした。6月以来全く月見野へ行っておりませんが、比較的近いところなので、これから群落を追ってほしいです。

Ⅱ. 稲山

4月21日

登り口ではエンレイソウが多く見かけられたが、タチソボスミレの株も確認できた。稲山から午旁畑にかけての道では、エソオニシバリの黄色のいい香りのする花、ツノハシバミが見られた。ツノハシバミは赤い雌花と、細長く垂れ下雄花が確認できた。午旁畑付近の傾斜地では、白いキクサキイチゲが確認された。なお青い花は全く見られなかった。

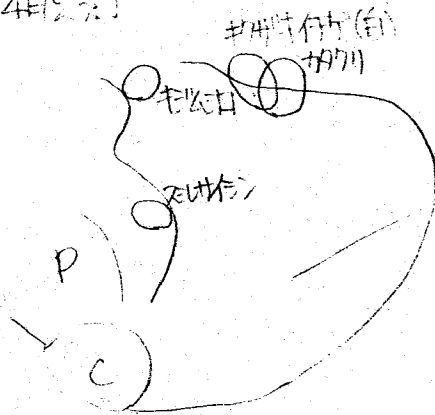
6月11日

4月に見られたエンレイソウには黒い種子がついている。タニウツギがピンクの花を見せ、ダイコンソウも見られる。稲山の頂上での日当りのよい広場では、マユミ、イヌコリヤナギ、ミヤコグサが見られる。午旁畑にかけての道ではマムシグサが見られる。高さ1m20cmほどであるが、残念ながら雌雄の確認はできなかった。またその少し先には、フタリシズカ、オオアマドコロが見られた。またツボスミレも見られたが、花は終りに近いものであった。4月に見られたキクサキイチゲは全く見られず、傾斜地にはほとんど何も見られなかった。

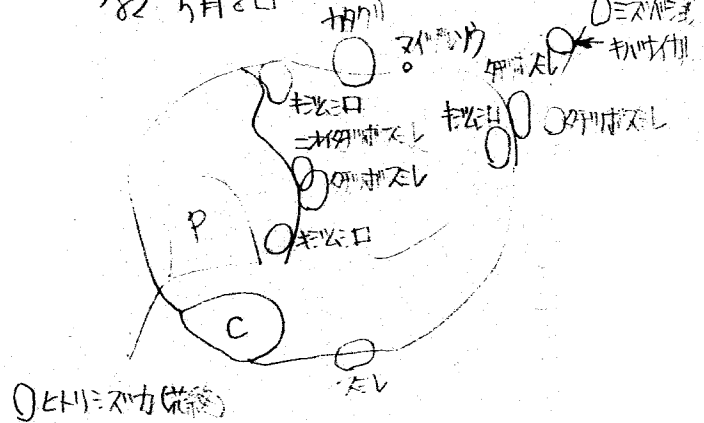
稲山は、月見野に比べると遠く、また自転車も途中で放棄しなければならず、不便なところもありますが、月見野とはちょっと違っている様相を見せてくれます。6月に見られたマムシグサは雌雄の因みについて非常におもしろい植物なので、群落調査をしてもらいたいところです。

月見野付直

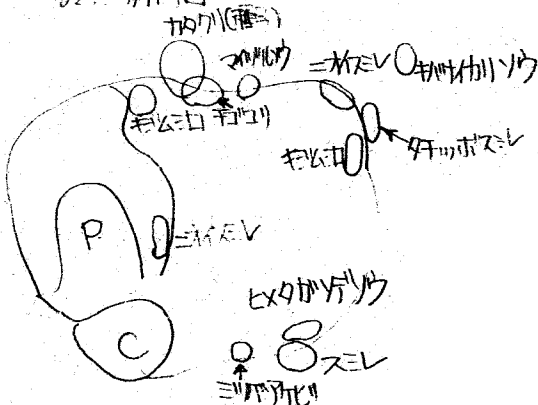
'82 4月23日



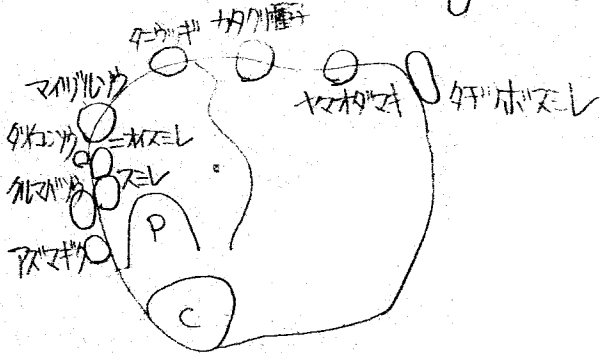
'82 5月2日



'82 5月5日

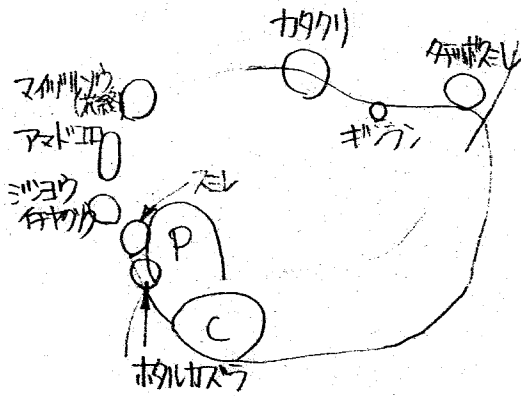


'82 5月23日



カクホスレ
 カク
 カクホスレ

'82 6月8日



月見野の植物一覧

合弁花類

あかね科

- 1 クルマバソウ *Asperula odorata*

きく科

- 2 アズマギク *Erigeron thunbergii*

むらさき科

- 3 ホタルカズラ *Lithospermum zollingeri*

いちやくそう科

- 4 ジンヨウイチャクソウ *Pyrola renifolia*

離弁花類

すみれ科

- 5 スミレ *Viola mandshurica*

- 6 スミレサイシン *Viola vaginata*

- 7 オオタチツボスミレ *Viola kusanoana*

- 8 ナガハシスミレ *Viola rostrata*

- 9 タチツボスミレ *Viola grypoceras*

- 10 ツボスミレ *Viola verecunda*

きんぽうげ科

- 11 ヤマオダマキ *Aquilegia Buergeriana*

- 12 キクザキイチゲ *Anemone pseudaltaica*

せんりょう科

- 13 ヒトリシズカ *Chloranthus japonicus*

めぎ科

- 14 キバナイカリソウ *Epimedium grandiflorum ssp. koreanum*

ばら科

- 15 キジムシロ *Potentilla fragarioides* var. *major*

単子葉類

らん科

- 16 ギンラン *Cephalanthera sachalinensis*

ゆり科

- 17 マイヅルソウ *Mainthemum dilatatum*

- 18 チゴユリ *Disporum smilacinum*

- 19 カタクリ *Erythronium japonicum*

- 20 アマドコロ *Polygonatum odoratum* var. *pluniflorum*

稲山の植物一覽

離弁花類

すみれ科

- 1 ツボスミレ *Viola verecunda*

まめ科

- 2 ミヤコグサ *Lotus corniculatus*

きんぼうげ科

- 3 キクザキイチゲ *Anemone pseudo-altaica*

せんりょう科

- 4 フタリシズカ *Chloranthus serratus*

ばら科

- 5 ダイコンソウ *Geum japonicum*

単子葉類

ゆり科

6 エンレイソウ *Trillium smallii*

7 オオアマドコロ *Polygonatum odoratum*
var. *maximowiczii*

さといも科

8 マムシグサ *Arisaema serratum*